

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023年5月31日

(あて先)
さいたま市長

提出者

住 所 さいたま市岩槻区大字鹿室1190

氏 名 曙ブレーキ岩槻製造株式会社

代表取締役社長 遠井 好則

電話番号 048-794-4111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2022年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	曙ブレーキ岩槻製造株式会社
事業場の所在地	埼玉県さいたま市岩槻区大字鹿室1190
事業の種類	輸送用機械機器
産業廃棄物処理計画における計画期間	2022年4月1日から2023年3月31日

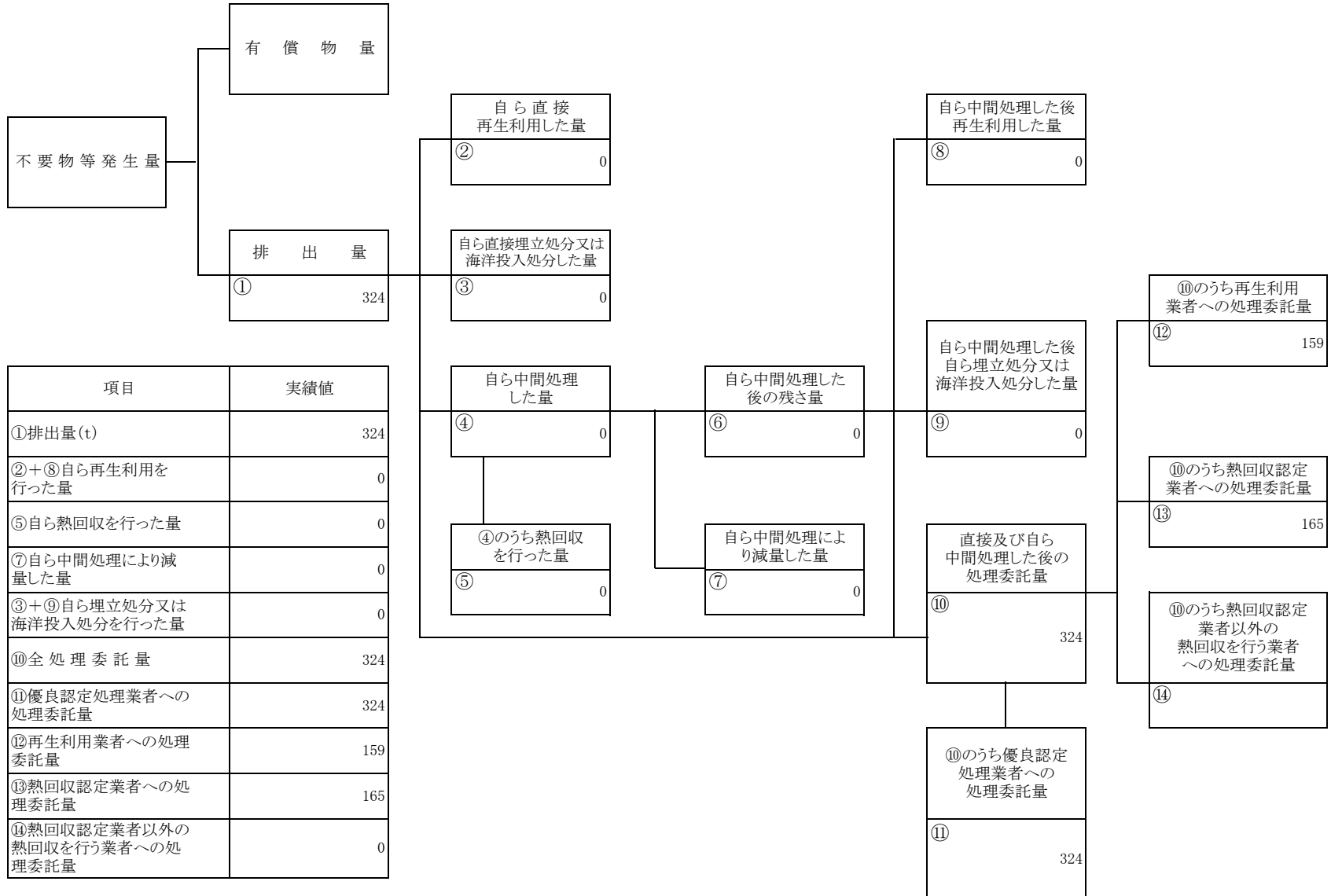
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	別紙1参照	全処理委託量	別紙1参照
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	無し	優良認定処理業者への処理委託量	別紙1参照
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	無し	再生利用業者への処理委託量	別紙1参照
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	無し	認定熱回収業者への処理委託量	無し
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	無し	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	無し

※事務処理欄

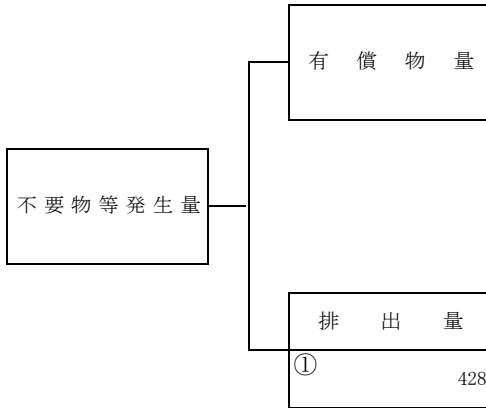
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

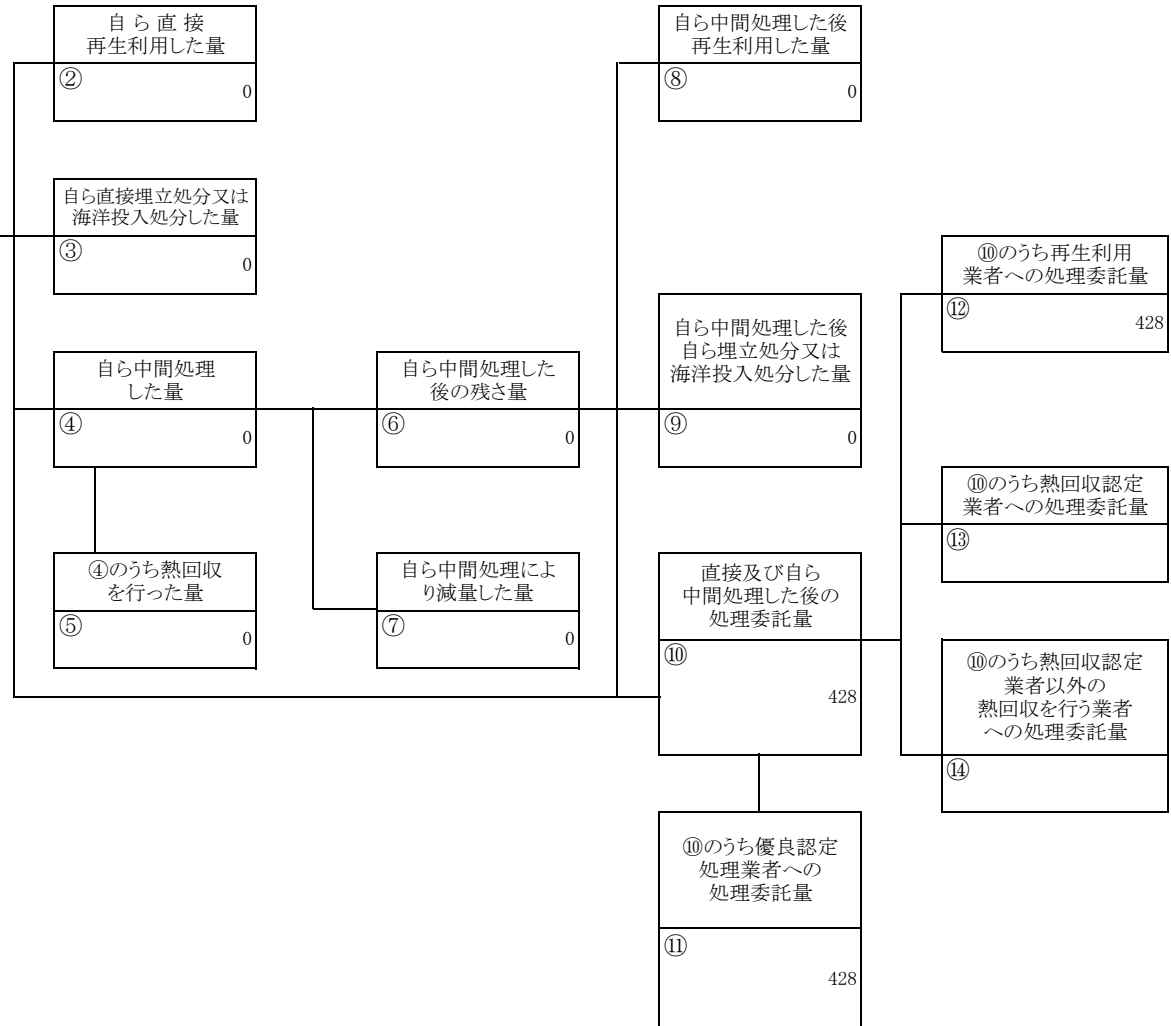


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

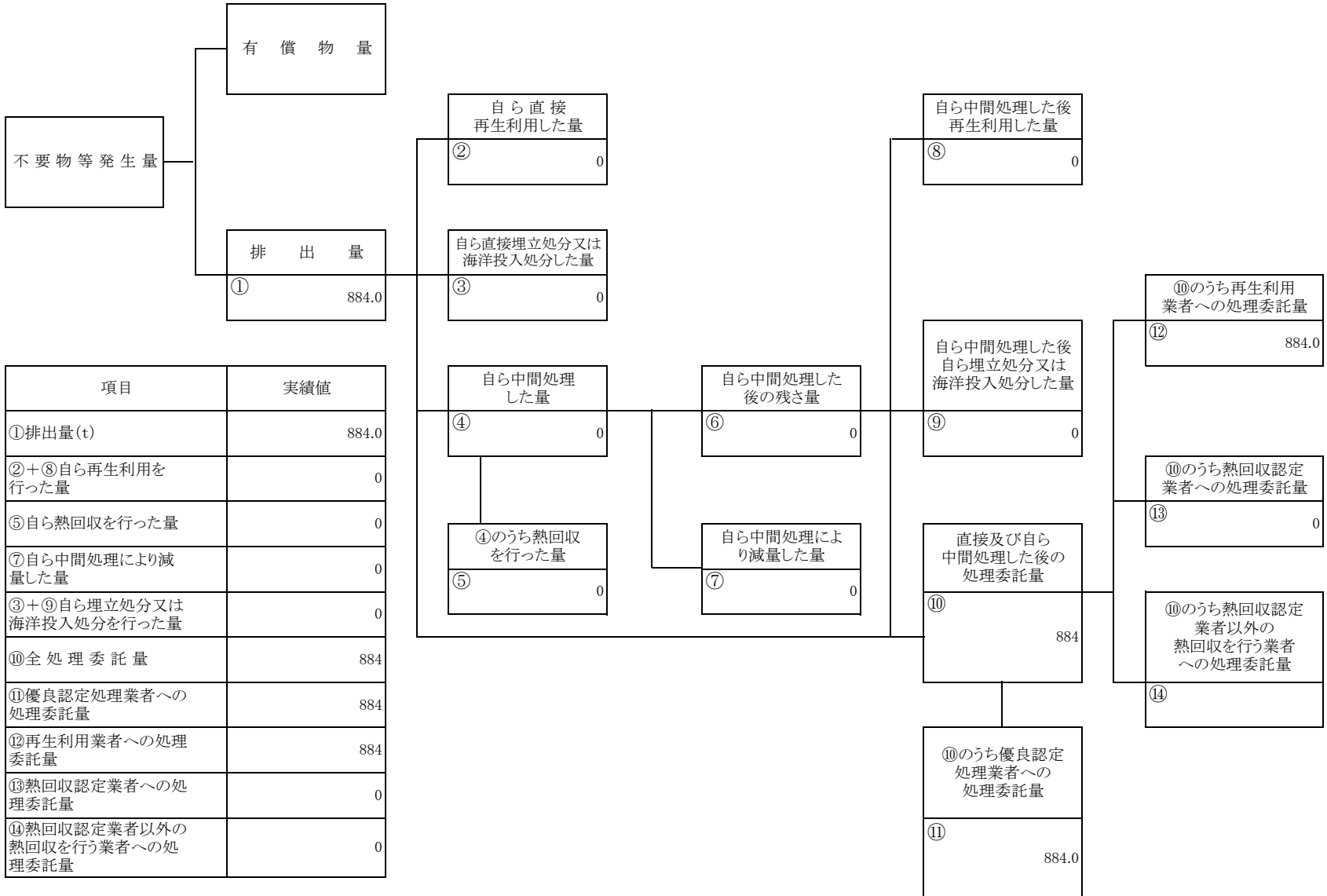


項目	実績値
①排出量(t)	428
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	428
⑪優良認定処理業者への処理委託量	428
⑫再生利用業者への処理委託量	428
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



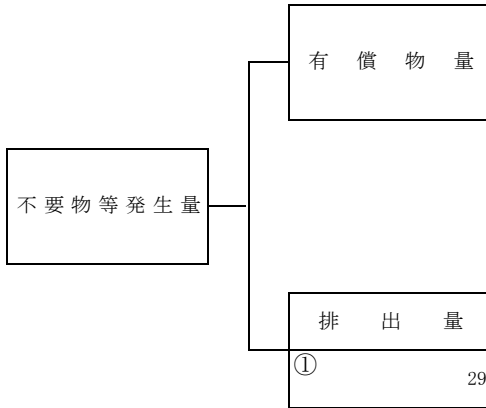
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃酸)

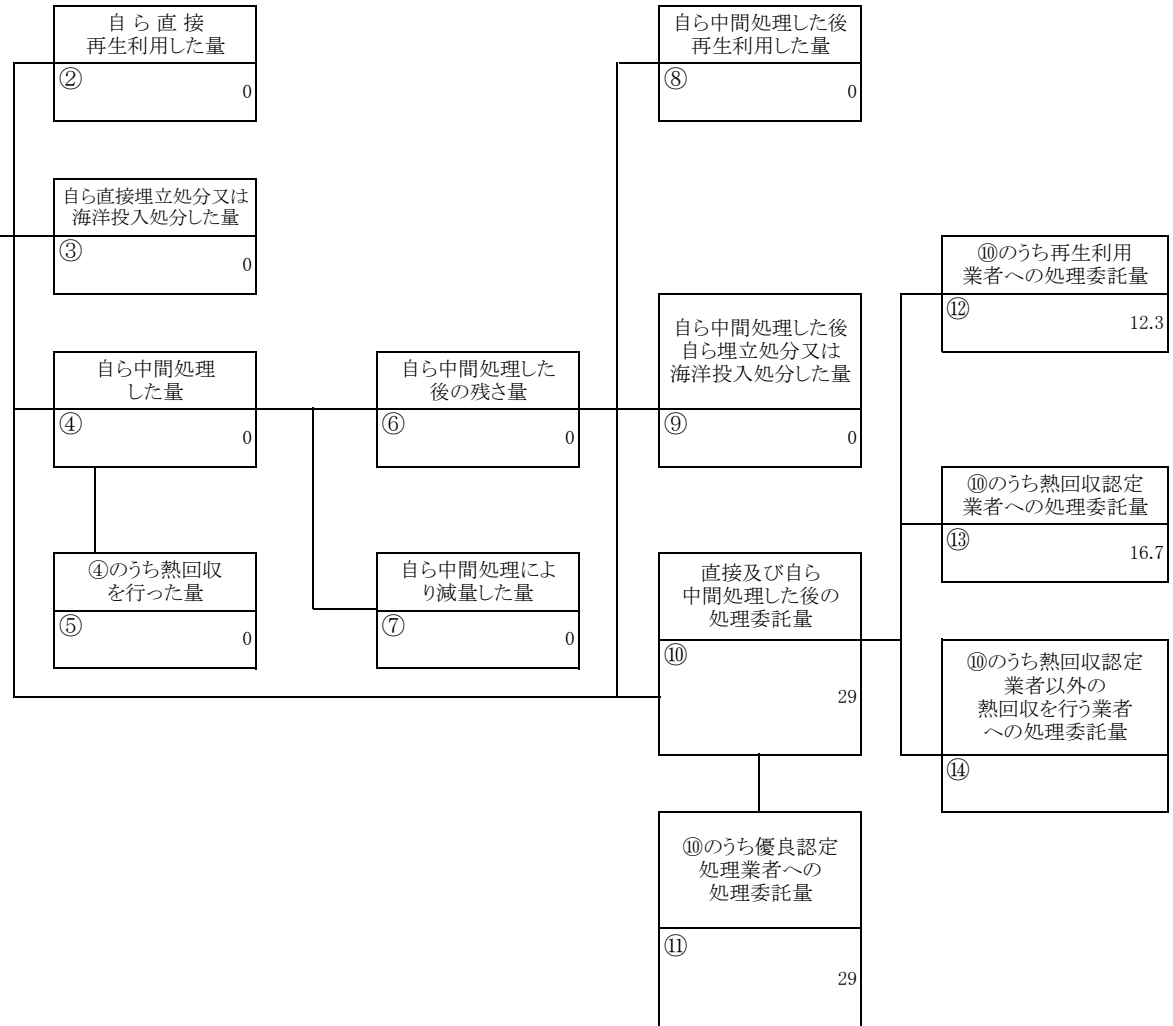


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

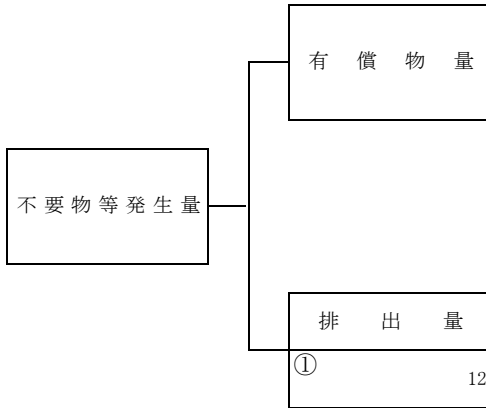


項目	実績値
①排出量(t)	29
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	29
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29
⑫再生利用業者への処理委託量	12.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	16.7
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

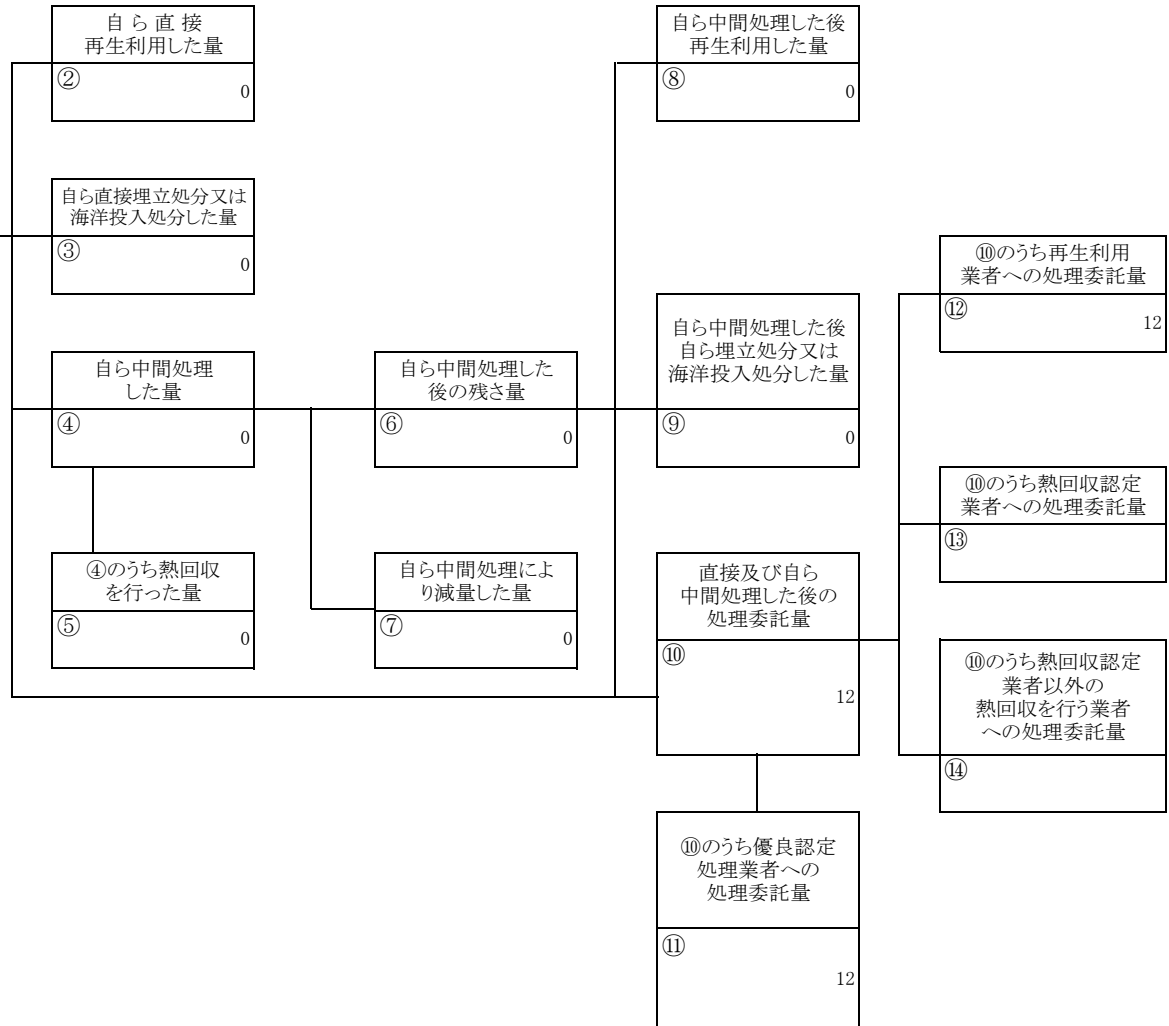


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木屑)

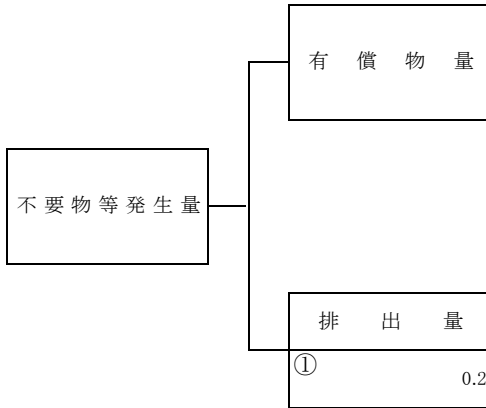


項目	実績値
①排出量(t)	12
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	12
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12
⑫再生利用業者への処理委託量	12
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

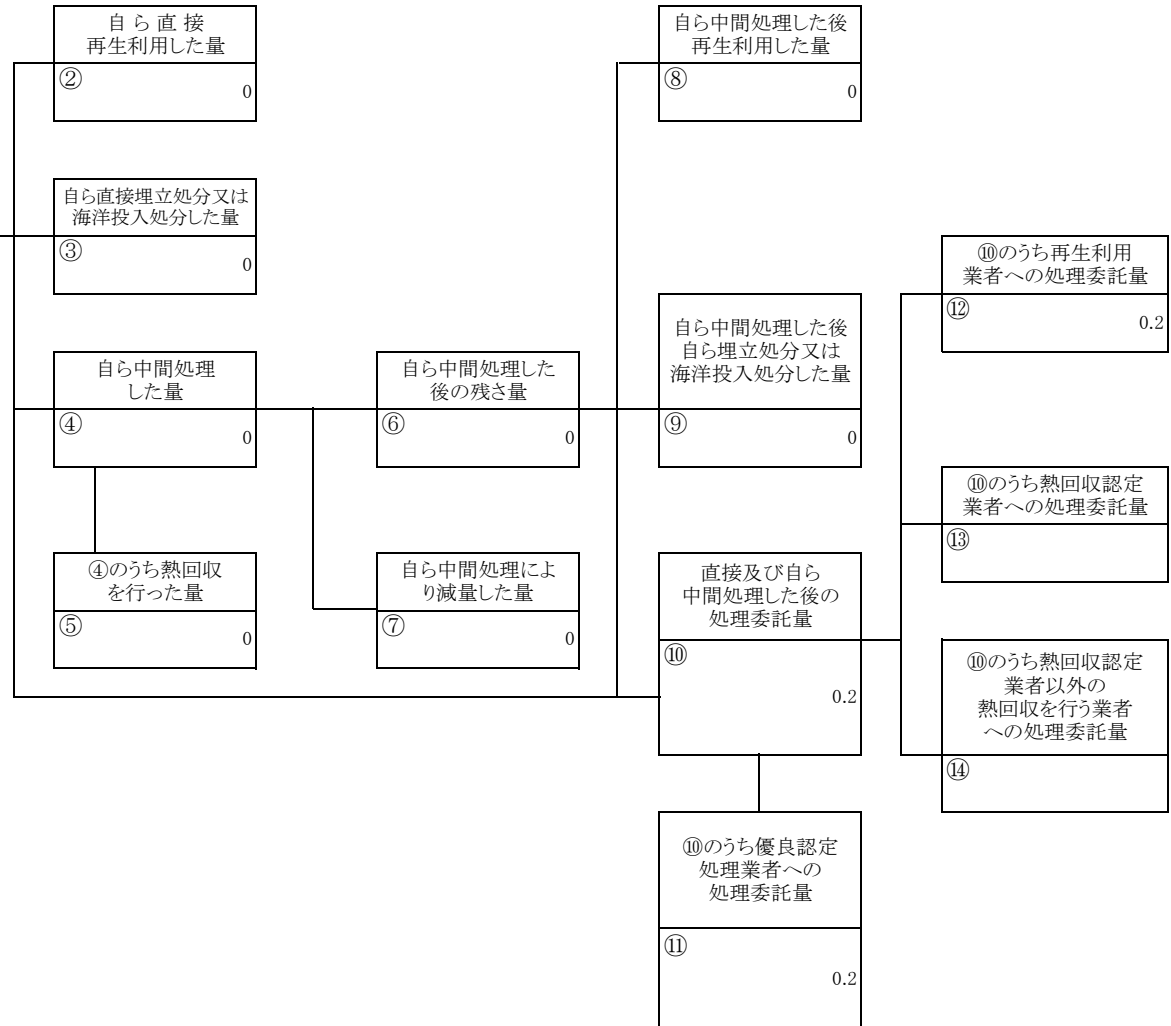


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート・ガラス・石膏ボード・スレート)

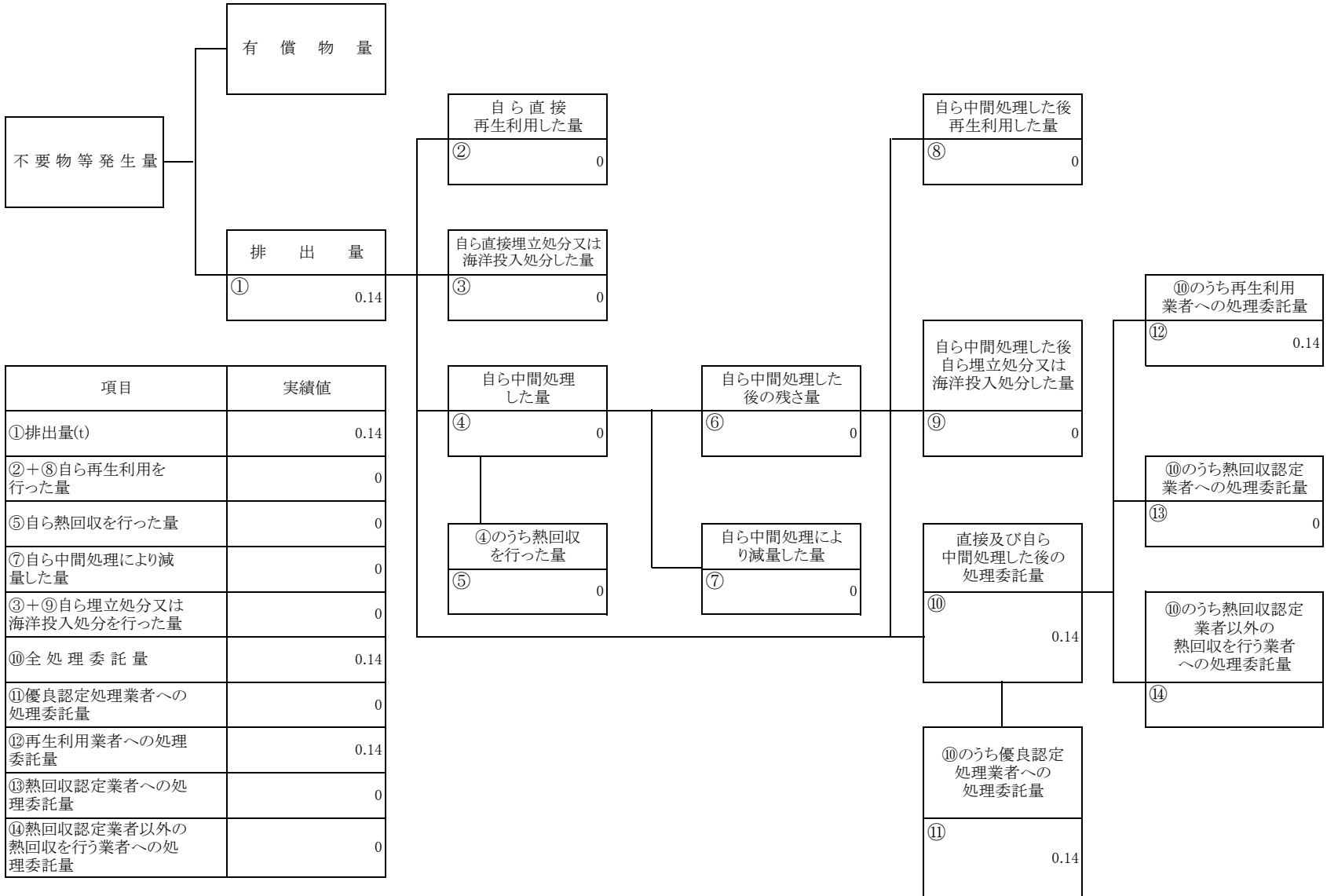


項目	実績値
①排出量(t)	0.2
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



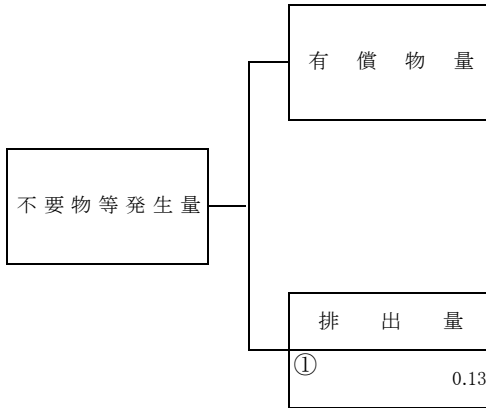
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 蛍光灯)

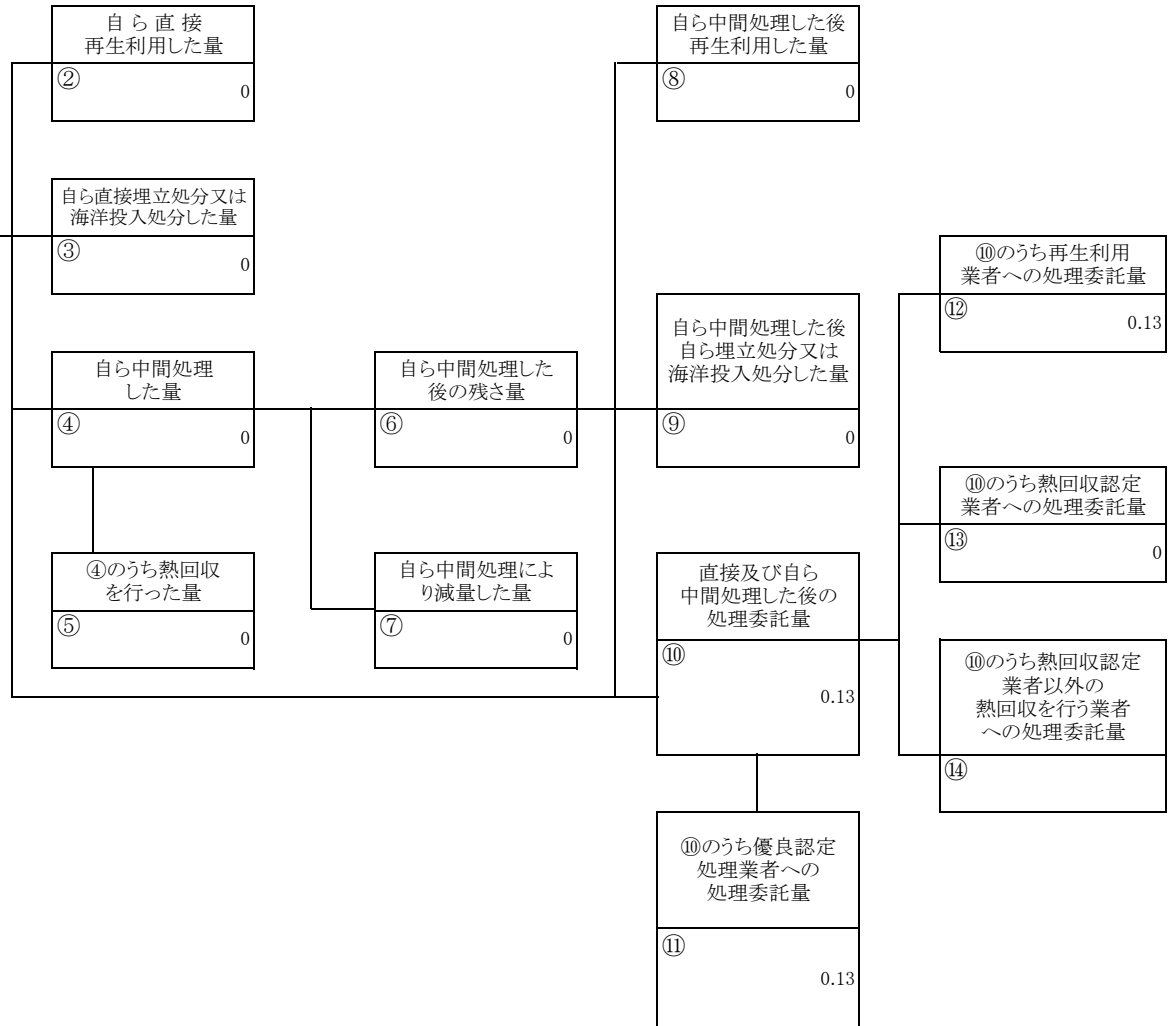


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 乾電池)



項目	実績値
①排出量(t)	0.13
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.13
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.13
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物処理計画における昨年度(2022年度)の目標値 項目別

項目[t/年]	①排出量	⑩全処理委託量	⑪全処理委託量のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬認定熱回収業者への処理委託量	⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う処理業者への処理委託量	中間処理方法	最終処理方法
0200汚泥	342	342	342	342	342	0	還元焼焼、天日乾燥・固化、焼却、脱水・乾燥、混合・混練	製鉄原料、亜鉛精錬原料、KSJソイル、再生砂、裏込剤にて販売、固形化・破碎・溶解、安定型、焼成、固化、分級混練
0300廃油	416	416	416	416	0	0	油水分離、焼却	燃料化・焼却焼成・安定型
0400廃酸	820	820	820	820	0	0	中和・凝集沈殿・蒸発濃縮	下水放流、ニッケル汚泥として売却、固化
0500廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	中和・油水分離	固化・焼成
0600廃プラスチック	27.9	27.9	27.9	27.9	0	0	破碎・減容	再資源化、焼却
0800木くず	18.8	18.8	18.8	18.8	0	0	破碎	再資源化・焼却
1300ガラスコンクリート陶磁器くず	3.2	3.2	3.2	3.2	0	0	破碎	安定型、路盤材、再生砂
1500がれき類(非飛散性石綿含有)	0	0	0	0	0	0	なし	安定型
1200廃乾電池	0.95	0.95	0	0.95	0	0	破碎	再資源化、管理型
1200廃蛍光灯	0.12	0.12	0	0.12	0	0	水銀加熱回収	売却・焼却・熔融

※2021年度実績値の-5%に目標設定